

座談会で出た質疑応答(一部)

Q. 生理痛でクリニックに行くことについてハードルが高いと感じます。受診の目安はありますか？

A. 症状には個人差があります。少しでも仕事に支障が出るようなら、受診した方がいいでしょう。治療にあたって最終的にどう薬を使うかは医師と相談の上、選んでください。

Q. HPVワクチンは男性も接種した方がいいのでしょうか。

A. 接種した方がいいです。現状、日本では男子への接種についてはほとんど実施されていませんが、HPVワクチンは咽頭がんなどHPVが原因となる男性自身のがん予防にもなります。そして、お互いに感染が起きないようにするという2つの意味があります。ワクチンについて社会的にどう考えるか、いろいろな場で話して理解を深めていく必要があります。

Q. 更年期にはさまざまな症状がありますが、その中でも受診すべき症状は？

A. 更年期症状は多岐にわたり、すべての症状がすべての人に出るわけではありません。人によって症状が違うので、本人が生活のいろいろな場面で困難に感じたら一度受診を。

▼第2部の座談会。久布白理事長に質問をするプロジェクトメンバー



座談会形式の質疑応答は本会初の試み

後半の30分間では、久布白理事長とプロジェクトメンバーによる座談会を実施。前半の講演内容を踏まえたメンバーからの質問に、久布白理事長が回答する形で行われました。講演に加えて、座談会形式での質疑応答というスタイルは、本会では初の試みです。収録は改装工事を終えた本会のリフレッシュルームで行われました。

月経や更年期障害に対する不安など、自身の体調についての悩みに加え、子宮がん検診やHPVワクチンについて、検査や健診の受診者からの質問にどう対応すべきかなどについての項目があったのも本会ならではの。

座談会に参加したプロジェクトメンバーからは、「友だちにも教えたいと思った」「現場での業務に活かしていきたい」といった感想があがりました。



第5回

女性の健康管理(その3)

本会の健康経営の重点施策の一つである「女性の健康管理」。その取り組みの一環として「女性の健康推進プロジェクトチーム」が発足しました。1年余りの準備期間を経てスタートした本プロジェクトをご紹介します。

「女性の健康推進プロジェクトセミナー 女性の健康について、みんなで聞いてみよう！」

- 期間：2023年8月21日(月)～9月13日(水)
- 実施方法：動画(約60分)

第1部：講演

講師 | 久布白兼行

本会理事長、検査研究センター長
日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医
日本婦人科腫瘍学会婦人腫瘍専門医・指導医



【講演内容】

1.働く女性の健康課題

月経痛・月経量の仕事への影響／PMS、PMDD、PMEの違い／主な器質性月経困難症の原因疾患などについて

2.子宮がん検診

子宮頸がんの1次検診と2次検診(精密検査)／国のがん検診推奨までの流れ

3.HPVワクチン

日本で接種可能なHPVワクチン／日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会が推奨するHPVワクチンの接種／HPVワクチンの男性への接種

4.更年期

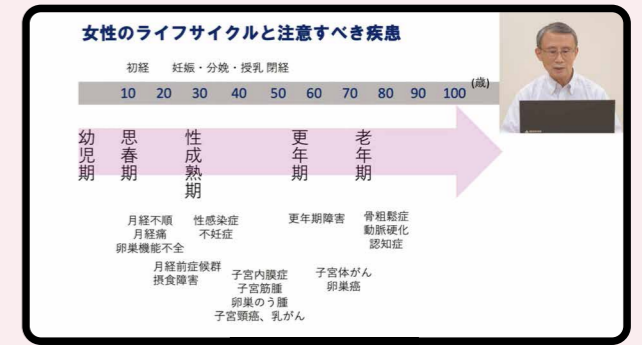
さまざまな更年期症状／更年期症状について職場で相談することに関する要素

など

第2部：座談会

- 久布白兼行理事長&女性の健康推進プロジェクトチーム

▼講演スライドより



プロジェクトチーム発足 最初の企画がスタート!

今年度から発足した「女性の健康推進プロジェクトチーム」。その発足にあたって本会では昨年より準備室を立ち上げ、従業員の構成やニーズ、本会特有の健康課題の把握、メンバーの選定など検討を重ねました。

プロジェクトチームのメンバーは20～50代の女性従業員8人。部署や背景の異なる各メンバーが知恵を出し合い、業務の合間を縫ってミーティングを行い、すべての従業員が元気に生き活きと働けるような健康づくり施策の企画を進めていきました。

そして先頃、本プロジェクトチームの最初の企画となる動画セミナー「女性の健康推進プロジェクトセミナー 女性の健康について、みんなで聞いてみよう！」が実施されました。

動画の前半30分間は、産婦人科医でもある理事長の久布白兼行医師によるWeb講演が行われました。

アンケート結果を深掘りし 次につなげていけるように

動画は8月から9月にかけて、本会の全従業員に向けて配信。約9割が受講しました。受講者からは「同僚が出演していたので、より身近な問題として捉えることができた」「業務上の疑問も解消できてよかった」といった感想が寄せられました。

また、プロジェクトメンバーからは「準備期間が短い中、初めての企画で大変だったが、周囲からも好評だった」「今後は実務にも活かせるような企画を考えていきたい」「普段の業務では接点が少なく、年代も異なるメンバーが集まったが、フランクな関係で前向きに取り組めた。受講者へのアンケートで皆さんの声を集約して深掘りし、次につなげていきたい」という声があがりました。今後もプロジェクトの動向にご期待ください。

受講者の声

各年代の女性の悩みや対処法がわかった

2部形式に分かれていて見やすい構成だった

現場での受診者の方への対応の仕方についても勉強になった

同僚が出演していたので、より身近なこととして聞いた